

(仮称)市民総合健康保健センター基本計画素案に対する意見募集(パブリックコメント)結果について

1、意見公募期間：平成26年10月16日(木)～11月30日(日)

2、素案の公表場所：宮古島市ホームページ、平良保健センター、下地保健福祉センター
宮古島市役所 平良庁舎1階ロビー及び4階振興開発プロジェクト局

3、意見募集結果：

人数		意見件数
個人	団体	
1人	5件	24件

4、意見の内容と意見に対する市の考え方

区分

- ◎ 意見を反映し、修正、加除(一部を含む)を行ったもの
- 原案のとおりとするもの
- △ その他(素案に直接関連のない内容等)

番号	公募意見の内容	公募意見に対する市の考え方	区分
1	災害時の避難施設として ・発電機の設置 ・飲み水の貯蔵 ・トイレ、シャワーの設置 を望みます。	発電機の設置については、停電時でも対応できる非常用発電機を設置します。また、防災備蓄倉庫を計画していますので、飲み水(ペットボトル飲料)の貯蔵や災害用簡易トイレ(便袋等)などの備蓄が可能です。また、シャワーについても、設置する計画となっています。	◎
2	素案 p4 (誤)DTP → (正)DPT	修正します。	◎
3	健康増進法25条に基づき、適切な受動喫煙防止対策を講じていただきたい。	館内及び敷地内は全面禁煙とします。	◎
4	保健センターとしての役割は、利用しやすくかつ情報発信をする場所ではないかと思われるので、関連図書(図書館)の設置を希望します。	利用しやすいように共用部門のエントランスホールに保健関連図書コーナーの設置を計画します。	◎
5	日本各地の保健センターを必ず参考にしてもらい、使いやすいものにして欲しい。(レイアウトは、その都度変更できる拡張性の高いスペース作りやPC・電話レイアウトもしやすいものが多いです。)	研修室や多目的室は、目的や用途に柔軟に対応できるように可動間仕切を計画し、室の大きさを変えることができるように計画しています。また、事務室はレイアウトの変更に対応できるように配線を床下に収納し、容易に取り出せる二重床(0Aフローア)を計画します。	◎

番号	公募意見の内容	公募意見に対する市の考え方	区分
6	基本的にはユニバーサルデザインを導入するとの事ですので、バリアフリー新法に基づいた建設をお願いしたいです。	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」及び「沖縄県福祉のまちづくり条例」に適合する建物を建設します。	○
7	駐車場は地下を作るなどして、障がいがある人たちが天候に関係なく利用できる工夫もお願いします。特に、車椅子スペースを一般利用者が使って使えないみたいなことにならない仕組みもお願いしたい。	建設予定地が決定していないため、地階を計画するかは現在のところ未定です。敷地条件などによって、地階の必要性を検討します。また、天候に左右されない屋根付き駐車スペースなども敷地条件と照らし合わせながら検討します。駐車場の車椅子スペースには、一般利用者にマナーを守って頂けるようにわかりやすく表示を行います。	◎
8	個室や相談窓口も周りから注目を集めないような工夫、またふらっと立ち寄れるようなカフェスペース、総合案内窓口があつて総合窓口へ繋いでくれるようなコンシェルジュ的な部分も検討していただきたいです。	プライバシーを確保するため、相談室の待合いを共用部から見えないように「中待合室」の設置を計画します。また、エントランスホールには、利用者が休憩できるように自動販売機設置と休憩スペースを計画しています。事務室には、利用者や職員が気軽に声かけできるように窓口カウンターを設置します。	◎
9	ATMの設置や必要書類が発行できるような機能も持ち合わせていると利便性も高まると思われれます。	ATM設置については銀行の設置条件(稼働率、周辺設置状況)によると思われれますが、建設予定地が未定のため現時点での設置予定はありません。また、必要書類を発行する機器については、新保健センターでの事業や各種申請等で必要性があれば検討します。	○
10	集団検診を保健センターで実施しているが、大型検診車が屋根付きで健診会場に横付けできるような場所がほしい。現在は、駐車場も狭く、雨天時も晴天時も市民に不便をかけ、職員は傘を準備したり、テントを毎日はったりと苦労している。	大型バスの検診車が施設に横付けでき、施設内から利用者がスムーズに受診できる配置を検討します。	○
11	検診会場は広くなりそうだが、採血や検査後スタッフが手洗いできるコーナーが多目的会場にあるとなお便利と感じる。	多目的ホールに手洗いコーナーの設置を計画します。	◎
12	多目的会場にポスターや注意点・案内ができるような案内板？看板のようなものがほしい。	多目的ホール内は、多用途に使えるように常設の案内板や掲示板設置は想定していません。目的や用途に応じて、壁面利用や立て看板のような備品での対応になります。	○
13	スロープが玄関にほしい。	各所に段差が生じないように計画するとともに、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」及び「沖縄県福祉のまちづくり条例」に適合する建物を建設します。	○

番号	公募意見の内容	公募意見に対する市の考え方	区分
14	駐車場が広い方がいい。	建設予定地が決定していないため、今後、敷地条件と照らし合わせながら検討します。	○
15	計測部屋がほしい。	各種計測を想定して診察室を計画しています。	○
16	会議室みたいな誰でも使える部屋がほしい。	会議や講習など必要に応じて利用できる多目的室を計画しています。	○
17	駐車場から屋根のついた通路がほしい。	建設予定地が決定していないため、今後、敷地条件によって可能であるか検討します。	○
18	フィットネス施設の設置	運動教室等が行えるトレーニングルームを計画しています。	○
19	駐車場の充実	建設予定地が決定していないため、今後、敷地条件と照らし合わせながら検討します。	○
20	ホールの数の増加	素案では、ホールが多目的な用途に使用できるように多目的ホールを計画しています。集団検診や講演など用途に応じて使用でき、効率的に使用できる計画としています。	○
21	骨密度の測定器などを置いてほしい。	精密機器である骨密度測定器は、維持管理に費用を要することから設置予定はありません。	○
22	メタボの知識を広める為、献立などを知りたい。	エントランスホールに展示コーナーや保健図書コーナーの設置を計画します。	○
23	赤ちゃん預かりの部屋を明るく広くして欲しい。	集団健診時の子ども預かりとして、多目的室3(和室)を計画しています。	○
24	母推活動において物品を保管したり、活動に向けての練習をする場所(部屋)が欲しい。	健康づくり推進ボランティア活動等に利用できる多目的室と倉庫を計画しています。	○